

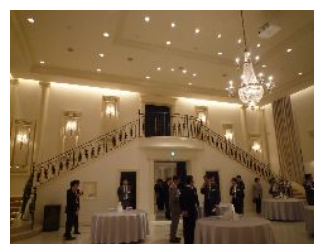
ー H24 年度西日本弁理士クラブ若手会新人歓迎パーティ 開催報告 ー

(2012/05/18 報告：井野川)



H24年5月18日(金)に新人歓迎パーティを開催いたしました。H23 年度弁理士試験に見事合格され、晴れて実務修習を終了された新人 40 名を含む 73 名の方にお越しいただきました。会場は、昨年、一昨年と好評だった「アーセンティア大使館」です。普段は結婚式場として利用される施設だけあって、古代ギリシャの

神殿を想わせる外観を呈し、天井の高い宴会場はヨーロッパ調のゴージャスなインテリアで統一されています。そこに、すばらしい料理が加わり、セレブな気分へといざなってくれます。



開会に引き続き、幹事長の原田洋平先生からご挨拶を賜り、西弁の意義やその重要性をわかりやすくご説明いただきました。次に、若手会リーダーの鈴木一晃先生をはじめ若手会運営委員から、若手会の位置づけや計画中のイベントについて説明いたしました。そして、

前幹事長の伊藤英彦先生からは、弁理士になられた新人の方々への祝福のお言葉とともに乾杯のご発声を賜りました。



しばし歓談を楽しんでいた後、先輩弁理士より一言ということで、新人にとって一期先輩となる H22 年度合格の弁理士を代表し、撫佐郁夫先生、春名真徳先生、千葉美奈子先生、横田香澄先生、山本英明先生から新人の方々へ歓迎のお言葉を頂きました。



その後、5人の新人の方々からフレッシュなご挨拶を頂きました。





前職は大阪市職員という異色の経歴をお持ちの中村忠則さんは、「皆さんと仲良くなってネットワークを広げていきたい。」、角野龍紀さんは、「長年のライセンス、契約などの知財経験で得た知識を多くの会員に伝えていきたい。」、企業にお勤めの岩本浩司さんは、「生きている限り弁理士を続け、最年長記録を塗り替えたい。」、大槻純也さんは、「子供や嫁さんに虐げられ、家庭でつ

らい思いを抱きながらも今度生まれてくる子供のためにも仕事とプライベートの両立の秘訣を先輩方から伝授頂きたい。」、川端和也さんは「先輩方と力を合わせて知財業界を盛り上げたい。」と5人5様の意気込みを語られました。

パーティの最後には、若手会前リーダーの臼井尚先生から、来場された新人の方々にもぜひ若手会に加わっていただき、楽しく有意義な弁理士活動を満喫しましょうと激励のメッセージを頂きました。



開場から閉会までの間、西弁入会申込書を受け付けましたところ、**32名**の方からご提出頂き、多くの気概に満ちた仲間を迎え入れることができました。ご参加、ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。